

## 令和5年1月定例教育委員会会議録

○日 時 令和5年1月19日（木） 午後3時～午後3時55分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦

1番 百瀬 克浩（教育長職務代理者）

2番 清野 康子

3番 中村 公俊

4番 齋藤 美緒

○出席議事説明職員氏名

教育部長	本間 明	参事兼管理課長	清野 健
参事兼給食センター所長	佐藤 守	学校教育課長	成澤 和則
学校教育課指導主幹	渡邊 智	社会教育課長	沼沢 紀恵
社会教育課文化財主幹	五十嵐 恭子	中央公民館長	熊坂 めぐみ
図書館長	武田 綾子	スポーツ課長	阿部 三成

○出席事務局職員氏名 管理課庶務主査 奥山 真裕

○会議次第

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

日程第1 議第1号 鶴岡市指定文化財の指定について（非公開）

5 報告事項

- (1) 西目地内土砂災害に係る通学支援について
- (2) 北茅原町児童路線バス通学検証事業について
- (3) 令和4年度学校教職員褒賞選考結果について
- (4) 令和5年鶴岡市二十歳を祝う会の実施について
- (5) 鶴岡市民俗芸能交流発表会について
- (6) 藤沢周平記念館関連事業について
- (7) 中央公民館エレベーター工事について
- (8) 令和5年早春文化展について

## 開 会（午後3時）

教育長 　　ただいまから1月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。

（給食センター所長が先唱し市民憲章唱和）

本日の会議録署名委員は、4番委員にお願いする。

教育長 　　それでは議事に入る。はじめに、日程第1議第1号は個人情報を含む案件ため、非公開とすることに異議はないか。

各委員 　　異議なし。

教育長 　　異議なしと認め、議第1号を非公開とする。

（会議録は別記録とする）

教育長 　　それでは報告事項に入る。報告事項（1）及び（2）について、事務局より一括で報告をお願いする。

管理課長 　　昨年12月31日に西目地区で発生した土砂災害では、近接、隣接する県道等が複数通行止めとなった。当日、学校は年末年始休業中だったが、上郷小学校及び鶴岡第一中学校へのスクールバス運行に支障が見込まれたことから、急きょ庄内交通と協議のうえ迂回ルートを設定し、学校を通じて保護者等に周知し、1月6日からの始業に支障なく運行することができた。

　　図面の赤線が通常ルート、青線が迂回ルートで、赤線上にある2つのバツ印が通行止めの場所である。通行止めにより乗降場所を変更するなどの影響はあったが、運行時刻に大きな変更はなく、現在も混乱なく通学している状況である。現時点で、通行止め解除の見通しが立たないことから、当面の間、迂回ルートによる運行が見込まれる。

　　避難指示世帯のうち1世帯に上郷小学校児童が2名いて、市内ホテルで避難生活をおくっている。当該児童の通学支援対策として、登校時のみ上郷小学校までタクシーで輸送している。児童は学童保育施設に通っているため、下校は勤務後の保護者が対応している。近いうちに大山地区の市営住宅へ引越しが予定されているが、引き続き、上郷小学校への通学支援を継続する予定である。

　　次に、茅原土地地区画整理事業で新たな住宅建設が進んでいるが、小学校までの通学距離が長いことについて市議会で指摘されていた。最も遠い場所は約3.5kmの距離があり、基準では冬季間のみ通学支援の対象となるエリアである。

　　スクールバスの運行も検討したが、学校敷地やその周辺に適切な乗降場所を確保する目途が立たないなか、路線バスの活用を視野に入れて検討、調整した結果、庄内交通から運行ダイヤ改正に協力いただけることとな

り、今年度は検証事業として路線バスを活用した通学支援を実施することとなった。

朝の始発場所は山形県立こころの医療センター敷地内で、エスモールで下車し、そこから学校までは徒歩となるが、従来の通学時間に比べ10分から20分短縮した。また、冬季間で道幅が狭くなるなど危険が増すことへの対処としても有効な事業と考えている。

1月6日から事業を始めたが、最初の1週間は管理課担当職員が同乗しマナー指導を行った。現在は児童だけで路線バスに乗車し、トラブルの報告は受けていない。期間は3月17日（金）までの49日間で、今年度の検証結果を踏まえ、来年度の事業のあり方を検討することとしている。

教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

なければ次に、報告事項（3）について、事務局より報告をお願いする。

学校教育課  
指導主幹

1月12日に教職員褒賞選考委員会を開催した。今年度は4名の推薦があり、鶴岡市立学校教職員褒賞要綱及び本市また田川地区への貢献等に鑑み、4名の受賞者を選考した。

受賞者は、朝陽第二小学校の加藤明教諭、朝陽第六小学校の五十嵐典子教諭、大山小学校の板垣由香教諭、鶴岡第三中学校の富樫久美養護教諭である。

朝陽第二小学校の加藤明教諭は、教職31年目を迎え、この間、生徒指導主任や教務主任として、児童の指導と教職員としての職務を誠実に行い、学校教育の振興に十分に貢献された。現任校では、教務主任として教職員からの信頼も厚く、調整力を発揮し組織的、計画的な教育課程の要となる役割を果たしている。学校とPTAの役割を精査し、PTA各専門部が自主的な活動ができるよう支援している。

朝陽第六小学校の五十嵐典子教諭は、教歴36年のうち16年間特別支援学級の担任として勤務している。令和元年度からの5年間は、副教務及び特別支援教育コーディネーターを務め、特別支援教育の司令塔として活躍されている。また、副教務主任として、教頭、主幹教諭、教務主任とともに学校経営の根幹となる部分を担い、校長の学校経営を支えている。特別支援教育の視点から当該児童にとってふさわしい学びの場について、保護者にも丁寧に説明している。

大山小学校の板垣由香教諭は、教歴35年のうち23年間特別支援学級の担任を務め、多様な子どもたちの自立に向けて、保護者の願いを受け止めながら支援してきた。櫛引東小学校、羽黒小学校、現任校の3校で通算13年間にわたり特別支援教育コーディネーターを務め、特別支援教育をけん引し、中核的な役割を果たしている。校内では若手教員の相談に親身に

なって対応し、保護者との面談には必ず同席するなど、若手教員にとって大変心強い存在となっている。

鶴岡第三中学校の富樫久美養護教諭は、生徒一人ひとりの体の健康のみならず心の健康にも気を配り、学校の中心的な存在となり相談の窓口として心のケアにも尽力している。ご本人は明るく朗らかな性格で、どの職員にも親身になって接し、職場の人間関係を良好にしていると伺っている。校内では、生徒や教職員との人間関係も大切にし、相談を持ち掛けるのは生徒だけでなく教職員も多く、心のよりどころとして信頼されている。

褒賞授与式は、2月2日（木）午前9時より櫛引生涯学習センターホールを会場に、第5回市教委招集校長会議に先立ち行う予定である。

教育長

昨年度の受賞者は事務総括の教職員が多かったが、今年度は教員、養護教員が該当となっている。

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

なければ次に、報告事項（4）から（6）までについて、事務局より一括で報告をお願いします。

社会教育課長

昨年4月の民法改正により成人年齢が18歳となったが、本市では従来とおりに20歳に到達する方を対象に、式の名称を「二十歳を祝う会」として初開催した。今年度に行った式典と同様に事前登録制とし、対象者1,161名に対し参加者は855名で73.3%の参加率となった。

式典の内容は新型コロナウイルス感染拡大防止のため市民歌と国歌斉唱は音声のみとし、また、参加できなかった方やご家族の方も式典の様子が見られるように市公式YouTubeチャンネルでライブ配信を行い、当日168名が視聴した。現在は編集した内容を配信している。

開式前に、西目地内の土砂災害で亡くなられた方々へ黙とうを行い、出席者全員が整然と黙とうを捧げた。前回同様に新型コロナウイルス感染防止のため事前登録者へ抗原検査キットを送付し、会場入口で検査結果が陰性であることを確認し入場とした。検査未実施の来場者は14名いたが、検査会場で検査し陰性を確認し、14名全員が式典に参加することができた。

今年度実施した4月と11月の式典は気候に恵まれたことから、受付時間前の来場者は密を避けるために屋外で待っていただいたが、今回は冬季間の開催であり、早く来た方はタクト館内で待っていただいた。受付までの誘導が困難であり次回の課題と考えている。

中学校ごとの参加状況は資料のとおりだが、居住地別の参加状況では、鶴岡市在住の参加者は378名、参加率は44%。県外からの参加者は399名、参加率は46%であった。

次回は、コロナウイルスが収束し従前とおりに実施できることを期待

し、令和6年1月7日（日）開催に向け準備を進める。

次に、藤沢周平記念館では作品世界を豊かに味わい深めることを目的に講演会を開催しているが、現在開催中の酒井家庄内入部400年記念企画展〈「海坂藩もの」にみる庄内藩〉関連イベントとして、文芸評論家の池上冬樹氏を講師に「物語のダイナミズム―読まれつづける海坂藩をめぐる一」と題する講演会を開催する。

日時は3月11日（土）午後1時30分からで、場所は庄内神社参集殿、定員は150名、参加料は300円である。2月市広報、記念館ホームページ、ポスター、チラシで周知する。申込み締切りは2月14日（火）で、申込み多数の場合は抽選となる。

次に、1月26日（木）は藤沢周平氏の命日であることから、毎年、館内に記帳台を設置し藤沢氏をしのぶ機会としている。今年は1月21日（土）から31日（火）まで設置し、期間終了後、芳名帳を遺族にお送りする予定である。

今までの状況だが、令和4年1月は80名、令和3年1月は42名に対し、令和2年1月は250名とコロナウイルス感染症拡大の影響から、人数に差があるのではと考えている。

社会教育課  
文化財主幹

酒井家庄内入部400年記念事業の一環として実施する鶴岡市民俗芸能交流発表会は、民俗芸能の担い手のやりがい創出と交流、また市内に息づく民俗芸能の継承活動を市民に発表する場であり、民俗芸能の保存継承意識の醸成、高揚につなげることを目的としている。

今回は2月4日（土）午後1時30分から庄銀タクト鶴岡大ホールを会場に開催する。東北文教大学の菊地和博氏からそれぞれの演目について、丁寧な解説をいただく。

出演団体のうち、日枝神社獅子舞社中は2年振りの3回目、大山いざやまき保存会・キッズ華の会は4年連続の4回目、温海嶽熊野神社獅子舞保存会は2年連続の2回目、渡前小学校の子ども獅子踊りと湯田川温泉神楽保存会は初めての出演となる。入場料は無料で事前申込みも不要である。お時間あるときご覧いただきたい。

教育長  
1番委員

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

二十歳を祝う会について、着物を借りる費用を用立てられず、会に参加しなかったという話を知人から聞いた。着物でなければ参加できないことではないが、全国的にも同じような状況があると思う。

スーツで参加する気持ちがあればよいが、そうでない方もいるので、着物でなくても会に参加しやすい雰囲気にならないかと感じた。

夏に開催している地域では、着物の代わりにドレスで参加するようで、その費用が掛かるとの話も聞いた。冬でも夏でも状況は同じかと思うが情

報共有したい。

教育長 事務局にそのような情報は寄せられているか。

社会教育課長 初めてお聞きした。今回、式典に参加された女性でスーツの方がいた。参加者の服装にかかる費用について事務局として対応は難しい。

1 番委員 スーツでの参加に引け目を感じている方がいることを知ることも大事と思う。

教育長 開催要項で何か定めはあるのか。

社会教育課長 参加にかかる服装は何も定めていない。旧鶴岡市では8月に成人式を開催していたが、成人の日になんで1月開催に変更した経過がある。家族の負担は夏よりも大きいのではないかと感じているが、計画的に費用を準備する方もいると思う。一般的に着物レンタル代は高額である。

教育長 今年度の4月と11月の開催のとき、スーツの方はいたか。

社会教育課長 スーツの方は見ていないが、今回は1名見受けた。

教育長 主催として服装の規定は設けず、また、そのような方に着物を用意することもできないが課題である。受付前の館内滞留も課題とのことで、次回に向け検討いただきたい。

ほかにご質問、ご意見等はあるか。

なければ次に、報告事項（7）及び（8）について、事務局より一括で報告をお願いします。

中央公民館長 今年度、開館以来使用しているエレベーターを更新するため、昨年9月に契約し1月24日（火）から現場工事を始める。工事期間中は休館しないが、設備撤去など騒音が特に大きい日や塗装のシンナー臭が強い日は貸館を停止する。それ以外の日については、エレベーターが使用できないこと、また、工事騒音が発生することを事前に説明し、了解いただいた団体に貸館をしている。

エレベーター奥の1階談話室も資材置き場となるため、テレビを見たり新聞を読んだり、また打合せしたりすることはできないが、施工業者と連絡をとり、安全を優先するためバリケード規制しながら工事を進めたい。工事自体は2月20日頃に終了する予定だが、その後、県の検査で合格しないと使用できないことから、3月上旬までを工事期間としている。

次に、市民の作品展示と鑑賞機会を提供することを目的に2月25日（土）から28日（火）までの4日間、早春文化展を開催する。

1月市広報で告知し、作品制作に取り組んでいただけるよう周知を図っている。2月3日（金）から展示の予約を受け、それを基に会場準備を進め、作品を搬入する流れである。秋頃に市内コミュニティセンター等の文化祭に展示した作品でも結構なので作品を募集していることをお知らせいただきたい。

教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。  
なければ、ほかに報告事項はあるか。

1 番委員

昨年12月、鶴岡市総合計画審議会企画専門委員会に参加した。ある委員から、子どもたちが鶴岡のことを学ぶ授業が足りないのではないかと指摘があった。『つるおかの教育』という冊子があり、その中に教育委員会重点施策として「ふるさと鶴岡」を愛する子どもを育てる教育に取り組んでいることをお伝えしたが、保護者にもっとアピールすることが大事ではないかと感じた。

『つるおかの教育』の存在を知らない方もいるかと思うが、この冊子に子どもの教育についてしっかりと記され、教職員も一所懸命に取り組んでいるので、もっとPRしていくことも大事と思う。

学校教育課長

昨日、総合計画見直しに向けた市民教育専門委員会が開催され、同様のご意見があった。市教育委員会では「ふるさと鶴岡を愛する子ども」育成推進事業に取り組んでおり、また、各学校でも地域の特色を取り入れながら学校活動に取り組んでいるが、まだ認知されていない状況と見受ける。

来年度以降に広報の機会を捉えながら、同事業を掲載することを計画したい。

教育長

ほかに報告事項はあるか。  
なければこれをもって1月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後3時55分）